

新しく取引先を追加する

ここでは、取引先を管理する方法についてご紹介いたします。

取引先は、各勘定科目における補助科目とは別に、取引先からの売り上げや仕入れなどを管理し、必要に応じて、残高管理を行うものです。

1. 取引先の概要

当会計システムの取引先管理は、2つの方法で取引先を管理する事が可能です。

- 取引先残高管理

取引先における売掛残、買掛残を科目ごとに管理し、取引先ごとに残高管理を行うものです。

取引先を扱っている勘定科目の仕訳を入力する際、マスタに登録されている取引先を必ず入力する必要があります。

- 摘要としての取引先の利用

摘要欄とは別に取引先をマスタに登録しておくことで、伝票入力の負担を軽減するためのものです。マスタに登録しておく、取引先を参照して仕訳を入力することができます。取引先以外の内容を記入する事も可能(空欄も可、その取引先をマスタとして登録する事も可)です。取引先を扱っている勘定科目の仕訳を入力する際に参照すると、取引先候補が出てきます。

2. 取引先残高管理を行う場合

(ア) 登録の手順

会計マスタ登録

会計マスタ登録の「取引先残高を管理する」にチェックを入れてください。

科目マスタ登録（各勘定科目ごと）

取引先管理を行う科目をそれぞれ登録します。（科目マスター一覧登録でも登録が可能です）勘定科目を選択・表示し、「取引先管理を行う」にチェックを入れてください。

取引先マスタ登録

残高管理を行いたい取引先を登録します。取引先名称及び取引先コード等を入力してください。伝票・帳簿入力時にもマスタ登録は可能です。

取引先別残高登録

勘定科目別、補助科目別、部門別に取引先の期首残高を設定します。各取引先の残高を入力してください。

(イ) 取引先の入力・出力に関する留意点

- 伝票入力画面（仕訳伝票入力、仕訳入力（単一）（現金・預金）出納帳入力）
各入力画面で摘要入力後（仕訳入力（単一）は、部門入力後）に、カーソルが取引先に移動します。その際に、登録してある取引先の一覧から取引先を選択し、入力を行います。残高管理をする必要がない取引先については、「その他」で入力すると、残高管理を行いません。（残高一覧表にも表示されません）
また、新たに取引先を登録する場合は、取引先欄にカーソルがある時に、**F 6 登録**を押して、必要事項を入力した上で、取引先を登録してください。
- 入力系の検索条件
各帳票において、仕訳伝票入力、仕訳入力（単一）の画面から検索条件で伝票を絞り込む場合、取引先をオプションとして選択し、取引先コード範囲を指定して検索する事が可能です。
- 帳票出力
元帳系の出力のオプションで2行明細で出力する際は、取引先は表記されないのをご注意下さい。それ以外の帳票の検索で、印刷条件のオプションとして、取引先のコード範囲を指定して、帳票を出力する事ができます。
- 取引先別残高登録
取引先の残高を登録する際、期中であっても期首の残高を登録する事になります。
- その他取引先を管理することにより使用可能なメニュー
 - ◇ 取引先マスタ登録
取引先を登録します。
 - ◇ 取引先マスター一覧表
取引先マスタ登録で登録した内容を出力します。
 - ◇ 取引先期首残高
取引先それぞれの期首残高を登録します。科目期首残高や補助科目期首残高などの残高とは整合性をとっておりませんので、登録の際にはご注意ください。

- ◇ 取引先別残高データ取り込み
取引先の期首残高を取り込みます。
- ◇ 取引先別残高一覧表
取引先ごとの残高一覧を出力します。
- ◇ 科目別取引先残高一覧表
科目別での取引先の残高一覧を出力します。
- 翌期から残高管理を行う場合
翌期になったと同時に、会計マスタ登録の「取引先残高を管理する」にチェックし、取引先管理が必要な科目については科目マスタ登録で「取引先管理を行う」にチェックを入れて下さい。翌期のデータは、取引先を登録した上での入力が必要になります。また、今期分のデータの修正に関して、必ず取引先の入力が必要になるので、「その他」を選択してください。取引先の残高が決定した段階で、取引先残高登録で、残高を記入します。（ここで残高が一致すると考えられます）これ以降は、問題なく運用できます。

3. 取引先残高管理を行わない場合

(ア) 登録の手順

科目マスタ登録（各勘定科目ごと）

取引先管理を行う科目をそれぞれ登録します。（科目マスター一覧登録でも登録が可能です）勘定科目を選択・表示して、「取引先管理を行う」にチェックを入れてください。

取引先マスタ登録

参照したい取引先を登録します。取引先名称及び取引先コードを入力してください。伝票・帳簿入力時にもマスタ登録は可能です。

(イ) 取引先の入力・出力に関する留意点

- 仕訳入力系（仕訳伝票入力、仕訳入力（単一）（現金・預金）出納帳入力）
各入力画面で摘要入力後（仕訳入力（単一）は、部門入力後）に、カーソルが取引先に移動します。その際に、取引先を参照する事も可能ですし、自由に入力（空欄も可）する事も可能です。
また、新たに取引先を登録する場合は、取引先にカーソルがある時に、**F 6 登録**を押して、必要事項を記入した上で、取引先を登録してください。
- 入力系の検索条件
各帳票において、仕訳伝票入力、仕訳入力（単一）の画面から検索条件で伝票を絞り込む場合、取引先をオプションとして選択し、文字列を指定して検索する事が可能です。
- 帳票出力
元帳系の出力のオプションで2行明細で出力する際は、取引先は表記されないのをご注意下さい。
- その他取引先を管理することによる帳票
 - ◇ 取引先マスタ登録
取引先を登録します。
 - ◇ 取引先マスター一覧表
取引先マスタ登録で登録した内容を帳票出力します。

4. Q & A

取引先を使うつもりはないが・・・。

取引先管理するほど、取引先が特定でない場合など、取引先管理を行う必要がありません。その際は、会計マスタ登録・科目マスタ登録共に、取引先管理にチェックを入れないようにしてください。チェックを入れないことで、これまでと全く変わらない仕訳伝票入力の状態になります。

期中から運用を開始するためにはどうすればよい？

取引先を利用して、残高管理を行わない場合は、取引先管理する勘定科目を科目マスタ登録で「取引先管理をする」にチェックを入れてください。

残高管理を行う場合は、原則として期首からの運用をお勧めします。取引先管理を行う場合は、期首残高を登録する必要があります。

期中から運用を始めると、これまで該当する勘定科目で入力されたものは「その他」として取り扱われ、残高管理できません。(伝票を修正すれば、その限りではありません)

取引先管理をやめたい場合はどうすれば？

2種類あります。

- ・ 取引先管理自体をやめたい場合。

科目マスタ登録で、取引先管理を行っている科目について、取引先管理のチェックを外してください。その段階で取引先管理を外す事が可能です。

- ・ 残高管理のみをやめたい場合。

残高管理をやめたい場合は、会計マスタ登録の「取引先残高管理を行う」のチェックを外してください。これは期中でも作業が可能です。その際、取引先管理は行われているので、摘要のように取引先管理を利用する事ができます。

取引先管理を一度やめたが、再度取引先管理をしたい。前回のデータは残っている？

取引先管理を一度終了した時点で、取引先のデータは消去されていません。ただし、取引先管理をやめて以降の伝票には取引先を記述していないため、伝票の修正が必要になります。翌期からの運用をお勧めします。

どういうシーンで取引先を使えばよいか。

例えば、商品分類ごとの取引先を扱う場合などに有効です。下記のような形で残高管理が可能です。

勘定科目	補助科目	取引先	金額
売掛金	車販	墨田商事	250,000 円
		浜松商事	300,000 円
	整備	墨田商事	120,000 円
		新橋商店	180,000 円

取引先別残高一覧表

取引先	勘定科目	補助科目	金額	
墨田商事	売掛金	車販	250,000 円	計 370,000 円
		整備	120,000 円	
浜松商事	売掛金	車販	300,000 円	
新橋商店	売掛金	整備	180,000 円	